

東京商工新聞

第491号
 発行 東京商工団体連合会
 〒116-0013 荒川区西日暮里6-62-1
 電話 03-5692-5081
 F A X 03-5692-5091
 発行責任者 井賀真一

ホームページ [東商連](#) 検索 電子メール mailadm@toshoren.jp

税金相談停止命令制度許すな!

東商連 団体申し入れ

2月3日に、東商連武田会長代行と大内事務局長が「税金相談停止命令制度」創設に反対する団体署名(納税者の権利擁護を求める緊急署名)への賛同の申し入れを行いました。東京地方労働組合評議会、東京自治体労働組合連合会、新日本婦人の会東京都本部、東京民主医療機関連合会、東京都教職員組合の5団体に申し入れしました。



自治労連の担当者に署名を手渡す武田会長代行

民商はじめ民主団体が「税金相談停止命令制度」創設に反対する団体署名(納税者の権利擁護を求める緊急署名)への賛同の申し入れを行いました。東京地方労働組合評議会、東京自治体労働組合連合会、新日本婦人の会東京都本部、東京民主医療機関連合会、東京都教職員組合の5団体に申し入れしました。

民商はじめ民主団体が「税金相談停止命令制度」創設に反対する団体署名(納税者の権利擁護を求める緊急署名)への賛同の申し入れを行いました。東京地方労働組合評議会、東京自治体労働組合連合会、新日本婦人の会東京都本部、東京民主医療機関連合会、東京都教職員組合の5団体に申し入れしました。

中野民商 自主納税制度を守って 地元国会議員要請行動

中野民商は2月15日、利憲章の創設を求めました。地元選出の立憲民主党・長妻昭衆議院議員の事務所を訪問し、要請行動に取り組みました。鈴木会長は「テレビでインボイス制度のこと、税金について教え合おう」と話しました。

中野民商は2月15日、利憲章の創設を求めました。地元選出の立憲民主党・長妻昭衆議院議員の事務所を訪問し、要請行動に取り組みました。鈴木会長は「テレビでインボイス制度のこと、税金について教え合おう」と話しました。鈴木会長は「テレビでインボイス制度のこと、税金について教え合おう」と話しました。鈴木会長は「テレビでインボイス制度のこと、税金について教え合おう」と話しました。



中野民商の代表者が地元国会議員の事務所を訪ねる様子

インボイス制度は今すぐ中止を 業者青年の実態訴える

東青協(東商連青年部協議会)は2月1日に日本共産党の山添拓参議院議員と懇談を行い、10月に導入が狙われているインボイス制度の中止を要望しました。渡邊恵司議長と関根和也副議長のほか、事務局数人が参加しました。

渡邊議長(建設業)は「インボイス制度は、知れば知るほどひどい制度。このままでは一人親方をしている下請けの消費税を自分が負担することになるか、値引きを求められるしかない。しかし、現状で自分が消費税を負担するのは厳しい。そもそも税金を応能負担にすれば、インボイスは必要ない。政府は、税金の使い方と集め方を正してほしい」と怒りを語りました。関根副議長(建設業)も「インボイス制度は、年末に出された税制大綱改正案の『税金相談停止命令』についても、山添議員は『民商をはじめとする民主団体つづきの法律は何としても阻止しよう』と話しました。



日本共産党の山添議員(左端)に実態を訴える東青協役員たち

業者婦人が輝く社会の実現へ 声を届けよう

2月13日、全婦協主催の「全国業者婦人の実態調査」結果報告と国会懇談会がありました。会場には全体で21人、東京から3人が参加しました。

まず、塚田豊子全婦協会長は「コロナ禍と物価高が暮らしと営業を押しつぶそうとしている。業者婦人が生きていけるように声を届けよう」とあいさつしました。



各地の交流では、業者婦人の実態やインボイス制度中止への決意などが語られました。東京からは、後藤和子副会長が発言に立ち、渋谷の街の実態や先日東婦協で行った商売を語る会などについて報告。「私たちは地域に根差して商売をするのが社会貢献。インボイス制度は今すぐ中止に、税金相談停止命令を必ず阻止しよう」と話しました。

懇談会には、立憲民主党の阿部知子衆議院議員、日本共産党の伊藤岳参院議員、本村伸子衆議院議員、高橋千鶴子衆議院議員、倉病・出産手当の創設など林明子参議院議員、社民党を要望しました。

いのち 暮らし 守る都政を 都議会開会 都庁前行動

2月15日、都議会第1回定例会の開会に向けて、都民要求大実行委員会、東京社会保険推進協議会、東京地方労働組合評議会は都庁前行動に取り組み、「16兆円の都財政は暮らし、福祉に回せ」と訴えました。労働組合や土建など各団体から約100人が参加しました。

東京地評の矢吹議長が「賃金は上がりず年金は下がり、中小零細業者は倒産の危機だ。暮らしと営業を守る責任を都に果たさせよう」とあいさつ。東商連からは大内事務



局長が「コロナ禍と物価高騰で中小業者の営業と暮らしは逼迫している。都は再開発や海外企業の誘致に予算を費やすより、中小業者へ直接支援をするべき」と話しました。

その後参加者は知事室にむかってシュプレヒコールをおこない、議会への個人請願書を提出しました。

東京都教職員組合からは英語スピーキングテストESAT jの実態と中止、少人数学級と教員増を求める訴えがされ、平和委員会からは住宅街の真ん中にありながら危険なオスプレイ輸送機が飛来している横田基地について、その撤廃を求めるようにと訴えがありました。

都議会の会派からは日本共産党の、とや英津子都議が参加し、都民のいのちと暮らしを守る都政に向けて、議会でも奮闘する決意を述べました。

倉敷民商弾圧事件 補屋さん不当逮捕から9年

倉敷民商弾圧事件の勝利をめざす全国連絡会は、1月25日に新御茶ノ水駅前にて宣伝行動に取り組みました。国民救援会中央本部・都本部、全商連、東商連から11人が参加しました。

各団体のリレートークでは、東京の会から国民救援会都本部の藤田事務局長、東商連から石嶋事務局長が弁士を務めました。藤田さんは「事件が8年以上経ってから訴因変更するのは事件がでつちあげであることの証



強風の中、補屋さんの無罪を訴えました。

拠、早期に無罪判決を出し、補屋さんの名誉と権利回復を、石嶋事務局員は「申告をパソコンに入力しただけで、脱税を手伝ったとでっち上げて逮捕し、なんと428日間も勾留、こんな人権侵害は許せません」と訴えました。ビル風が強く吹く中での宣伝でした。

俳句

石川貞夫選

梅二輪ふつと目が合う雨の窓
大田区 馬場 恵子

「評」淡々としたロマンの感じられる好句。

亡き父に詫げ焦げすぎの目刺かな
三鷹市 根岸 操

「評」いつまでも、ふとあのときのことを想い出す優しさ。

亡き父と声重ねよむ歌加留多
大田区 高橋 清美

「評」優しい娘。亡き父もどこかで喜んでるだろう。

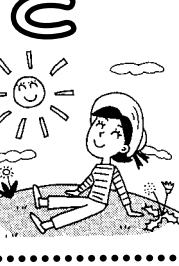
小正月戦の母子を思う日々
足立区 望月千恵子

三密を言ううな大声鬼は外
大田区 山根 康子

＊他にも佳句あり。次回もぜひ健筆を！

【投稿規定】ハガキに3句以内。未発表に限る。住所・氏名・電話番号を明記のこと。締切は毎月第2月曜日。宛先は東京商工団体連合会「東京商工新聞」編集部。掲載者には図書カードを贈呈いたします。

読者の ひとこと



インボイス制度は中止に
板橋区 国分尋実

取引先からインボイスについて問い合わせがあり、息子は考え中である。インボイスにするとなる税金を負うことになるから仕事も立ち行かなくなる。どうするのだろうかと心配です。政治を変えるためには私たちの声を上げるのではないのでしょうか。

春はすくそこに
清瀬市 白井昌子

家の近くにある小川の土手に見事なロウバイが

3本咲いている。良い香りが川を隔てた道路まで漂っている。たくさん散歩の人を楽しませている。

お願い
ハガキ・メールを送るときは、住所・氏名をお忘れなくご注意ください。

前号のパズルの答え
ソウシユンフ

次の方に図書カードを送ります。

高瀬たか子(大田区)
増田 幸一(文京区)
川村 秋子(小金井市)
敬称略

お楽しみ図書カードが当たる ザ・クロスワード No.162

ヨコのカギ

- あなたにそっくりなので驚いた。他人の.....
- 虫が地上に出てくる?
- 「となりのトトロ」のサツキの妹
- 列車の乗券券代
- 物の値段が上がること
-ずし、.....ご飯
- 揚げ揚げが好物だとか
-の根を分けて探す
- 隣の.....生は青い
- こっけいな寸劇
- 気楽なこと
- 金太郎は平安時代の武士・坂田.....の幼名
- 閉店。今日は.....です
-力、.....張
- 沖繩の守り神といえば
- 彼は手先が.....です

タテのカギ

- 桜の代表的な品種
- W杯。三苫選手ゴール
-1ミリの奇跡
-の生産量日本一。栃
- 木県は.....王国
- 雄弁は銀.....は金
- 大人気の.....作家
-の若い花々は早春の
- 山菜です
- 河川敷のグラウンドで楽しむ
- 国民、厚生などがあります
- ゴルフコースの障害物
- 質量の単位
- ほんのわずかな差
- 書物のことです
- 走り高跳びで.....をクリ

応募要領

答えはハガキ・ファックス・メールに書いて東商連まで送ってください。所属民商名・団体名も。締切は毎月第2月曜日。なおひとこと、紙面についてのご意見・ご要望・営業とくらしなどの状況をお寄せください。

正解者多数の場合抽選で、3人に図書カードをプレゼント。発表は紙面に掲載します。

「解きカギ」を解いてクロスワードを完成したら、「二重ワク」の文字をつまみつけて言葉を完成させてください。

STOP! 地球温暖化 みんなで考えよう環境問題江東民商婦人部

江東民商婦人部は2月13日、環境問題学習会を開催し、8人が参加しました。

12月に行われた東京母親大会で気候問題の講演を聞き、婦人部の中で「自分たちでも学んでみよう」という話から開催が決まりました。

当日は、山崎部長の「環境問題については、分かっているようで実際には分からない部分が多いと思います。地球の未来について考えられるような学習会にしたいと思えます」という開会あいさつで始まりました。

まず、赤羽担当事務局が用意した資料を元に環境問題について説明しました。内容としては、「環境問題とSDGs」



との関わり、気候変動の現状と危惧されていること、地球温暖化の原因とその影響、世界各國の脱炭素に向けた取り組み、日本の取組と課題など多岐に渡りました。日本の取組の遅れに関しては大企業優遇の政治が、クリーンエネルギー導入の遅れや原発推進といった環境問題にも影響していることを学び、参加者は「まだ環境問題が騒がれる前から、リサイクルの活動を振り返ることが大切」など様々な意見が出されました。

途中、役員佐々木さんより自分がこれまで行ってきたリサイクルの取組について報告がありました。その中で佐々木さんは、「まだ環境問題が騒がれる前から、リサイクルの活動を振り返ることが大切」など様々な意見が出されました。

これをからも出来ること(江東民商 赤羽目新児)

とを一つずつやっていきたい」と語りました。

その後、国連が提唱する、私たちが温暖化対策として日常から出来る「100の行動(ACT100)」を学び講義は終了しました。

感想交流では、「ゴミの分別は分かりにくく、面倒だが大切だと分かった」、「ヨーロッパでは簡易包装が当たり前で、量り売りが基本になっている。日本のペットボトルなどの使い捨て文化を見直す必要がある」、「一人一人が出来ることが限られているが、気づいた人が声を上げ、社会に温暖化対策を根付かせることが大切」など様々な意見が出されました。